

【研究保育(公開保育)】

公開される保育が、その日のために特別に用意された保育ではなく、普段の生活であることが大切です。

公開する園は、さまざまな園の保育者から意見が出されることで、あたりまえだと思っていた考え方に気付いたり、新たな視点や考え方を知ったりすることができます。

また、地域の園や学校が交流する場にもなります。

公開保育を見るポイント

子どもの発達過程を見る。
保育環境を見る。
先生のかかわり方を見る。

全員が発言し、主体的に参加する研究会になっていますか。



例えば、付箋紙を使って

<例1>

保育を参観しながら、参観者が気付いた点(保育者の言葉かけやかかわり、子どものつばやき、表情、環境など)を付箋紙に記入します。

記録した付箋紙は研究会で使用する。

1枚の付箋紙には1つの事実や事象を記録する。

子どもについては、一人に絞らず随時記録する方法と、特定の子どもに視点を当てて記録する方法がある。

9:40 A児
「いいこと考えた。
教えてあげようか。」

記録した付箋紙を保育者の援助と子どもの姿に分類しながら、時間に沿って模造紙に貼る。

保育者の反省や参観の視点、付箋紙が多く重なった点等について協議をする。

K
J
法

<例2>

保育を参観しながら2枚の付箋紙に記入します。

保育に工夫が見られた点

さらに工夫・改善が必要な点

付箋紙に書いたことを紹介しながら模造紙に貼る。

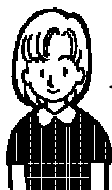
付箋紙を分類し、見出しをつける。

課題と具体的な取組について話し合う。

1枚の付箋紙に
1つのことを
横書きで
大きな字で



公開保育の記録のまとめ方について協議しています。
(東部教育局の会議室にて)



東部教育局では、園内研修について、事前事後の相談にも応じています。